

- 目次 -

醒泉学区の概要、学区の被害想定、地震のハザードマップ	1
醒泉学区全体図	2
具体的な対策	3
北西ブロック	4
北東ブロック	5
南西ブロック	6
南東ブロック	7
目標と方針	8,9
方針1	10,11
方針2	12,13
方針3	14,15
取組の役割分担	16
活動体制、個人・家庭の取組チェックシート	17

みんなで
作った

「防災まちづくり計画」とは？

「地震災害が起こった後の対応への備え」だけでなく

「地震災害が起こる前のまちの対策や整備」を

実施するための計画です！

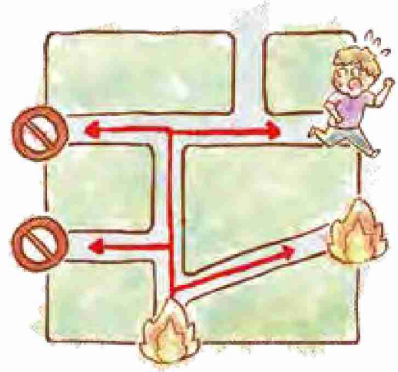
この計画をみんなで共有し、地震災害に強いまちを実現しましょう！



毎年開催！
「防災まちあるき」



耐震・防火改修で
住まいを安全に！



避難経路を確認し、
安全確保！

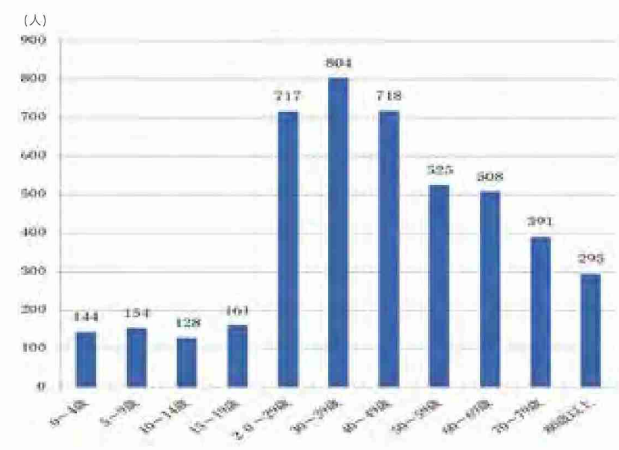
具体的な対策はP3をご覧ください →

醒泉学区の概要

- 人口 4,771人
- 世帯数 2,765世帯

(出典：平成27年国勢調査)

人口分布



学区の被害想定

花折断層地震が起こると、醒泉学区では震度6強の揺れが予測されています。ハザードマップや被害想定を確認しておきましょう。

京都市
土砂災害・水害・地震に関するハザードマップ

二次元コードを読み取れない方は、各種連絡先へ

花折断層地震で想定される被害

マグニチュード	M 7.5		
	下京区	京都市全域	
家屋被害棟数	全壊棟数	11,200 棟	162,100 棟
	半壊棟数	8,300 棟	117,800 棟
出火件数	7 件	26~96 件	
人的被害	死者	200~500 人	3,300~5,400 人
	負傷者	7,000~16,600 人	111,900~163,400 人
避難者(10時間後)	16,200 人	293,600 人	
ライフライン被害	水道 断水戸数	約36,000 戸	約520,000 戸
	電気 停電戸数	約11,200 戸	約147,000 戸
	ガス 供給停止戸数	41,200 戸	687,500 戸
	通信 被災加入数	9,400	76,000

(出典：京都市防災ポータルサイト 令和5年3月現在)

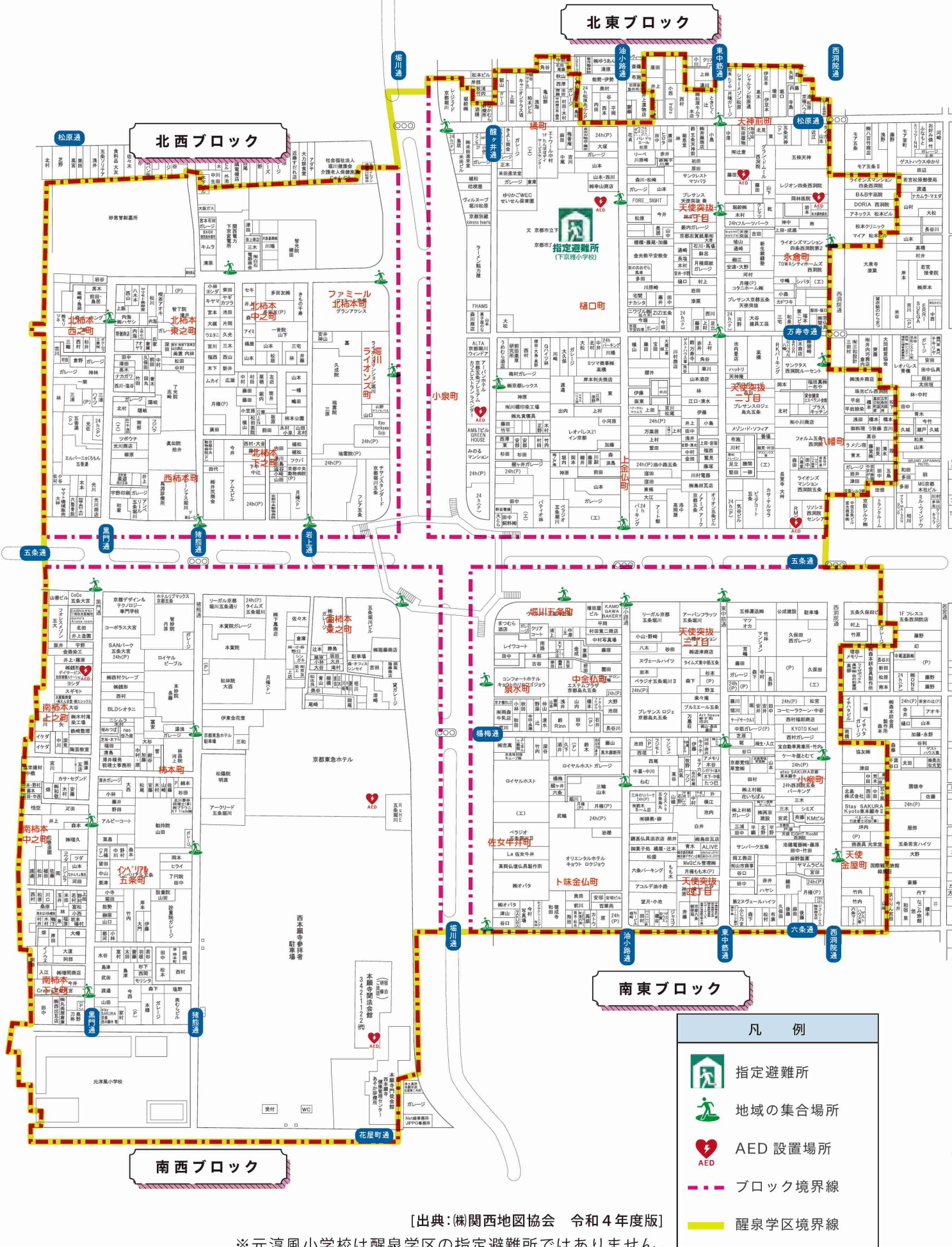
地震のハザードマップ



- 震度 6強** はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
 - 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
 - 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山の斜面の崩壊が発生することがある。

醒泉学区全体図

醒泉学区全体の防災に関する情報をまとめています。
ハザードマップとともに、防災上必要な地域の
情報を把握しておきましょう。



[出典: (株)関西地図協会 令和4年度版]

※元淳風小学校は醒泉学区の指定避難所ではありません。

具体的な対策

地震災害に強いまちを実現するために、学区内
で共通して進めるべき対策があります。各自や
家庭、ご近所や町内会で話し合い、できるところ
から取り組みましょう！

補助事業 耐震診断

対策に関連する市の補助
事業は右の二次元コード
にてご確認ください。

二次元コードを読み取れない方は、各種連絡先へ

地震災害時の対応の共有

いざという時に迅速・的確に行動できるよう、
地域の集合場所や連絡体制の再確認や、具体的
な避難方法などの地震災害時の対応を共有し
ましょう。

建物の耐震性・防火性向上

地震時の倒壊や延焼を防ぐため、建物の耐震・
防火改修に努めましょう。

ふくろじ 路地・袋路での2方向避難の確保

路地・袋路に避難扉を設けることで、2方向の避難経
路を確保しましょう。また、安全に避難できるよう
路地においてあるモノの整理整頓に努めましょう。

ブロック塀の安全対策

目に見えて
老朽化が
激しいものや、
高さが2.2mを
超えるものなど
(一般的なブロックの
11段相当)

避難経路に危険なブロック塀がないか確認し、
必要な対策を検討しましょう。

建替時の後退による道の拡幅

4m未満の狭い道路は、建替時にしっかり道路
後退(セットバック)し、道を広げましょう。また、
後退部分は道路形状に整備しましょう。

空き家発生の予防と適切な管理

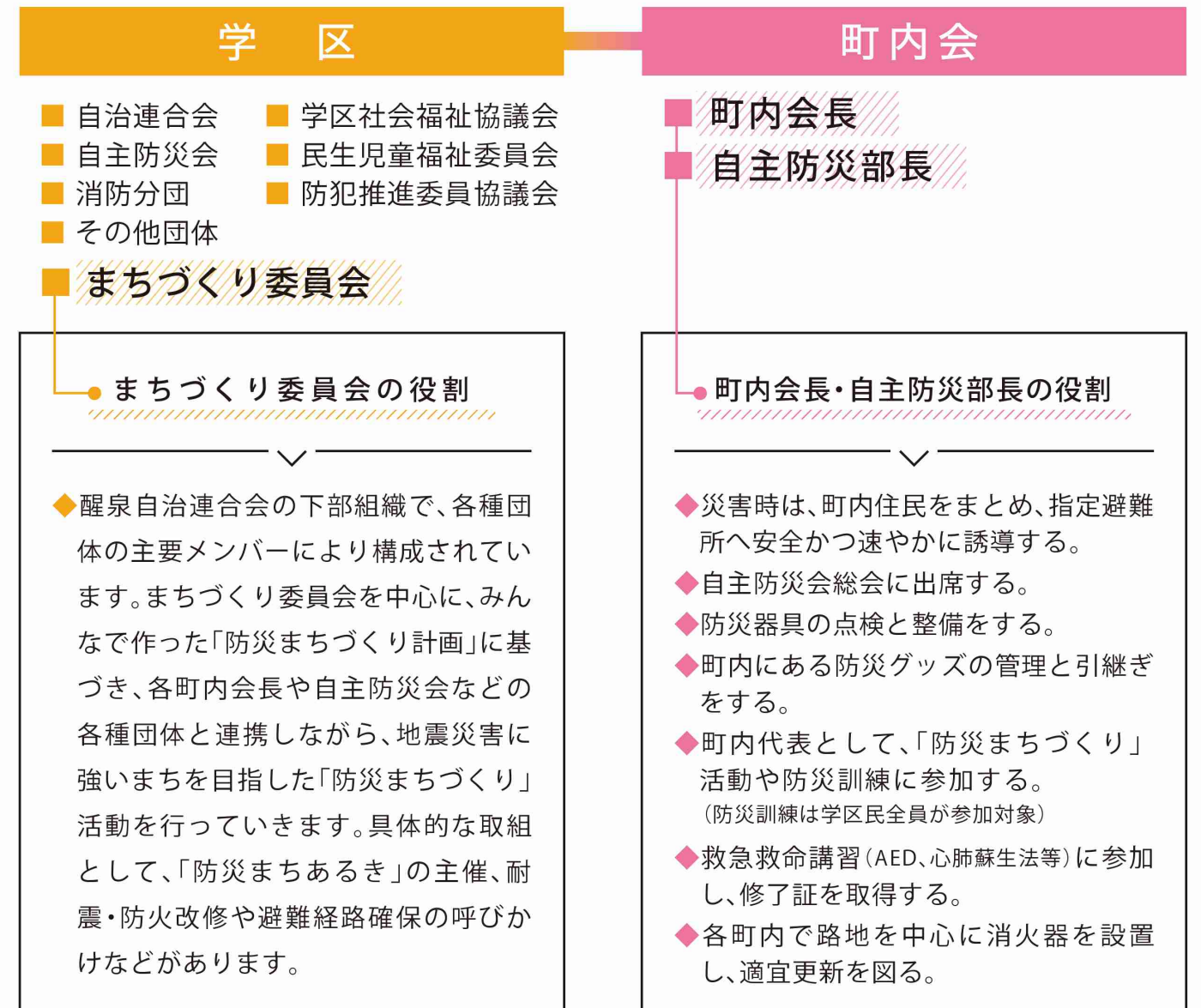
地域の生活環境を守るため、建物所有者は空き家の発
生を予防するとともに、適切な管理に努めましょう。
また、老朽化した空き家は除却も検討しましょう。

取組の役割分担

	方針 1 まちを知り、お互いを知り、 みんなで助け合う	方針 2 地震災害に強く、 避難しやすいまちを作る	方針 3 地震災害時に自ら判断して 行動できるようにする
学区	<ul style="list-style-type: none"> 「防災まちあるき」を毎年実施する 各種団体の情報共有会議を定期的開催する マンション、企業、宿泊施設などの町内会加入を促進する 地震災害時に、学区社会福祉協議会や民生委員と連携できる体制を、普段から作っておく 若い人やボランティアが参加しやすい企画を促進する 	<ul style="list-style-type: none"> 木造建物の耐震・防火改修を呼びかける 木造建物の耐震診断を促す 避難扉設置を呼びかける 学区や町内単位の防災訓練で、消火器の使い方講座を実施する 管理不全の空き家があれば、町内会やまちづくり委員会で情報を共有する 	<ul style="list-style-type: none"> 「防災まちづくり計画」を町内会加入全世帯に配布する スマートフォンなどを活用し、インターネット上で情報共有、更新を図る 地域の集合場所プレートを全箇所に設置する 毎年、防災訓練を実施して、地震災害時の行動の周知を図る 防災訓練などで、防災グッズの周知を図る マンション、企業、宿泊施設などに「防災まちづくり計画」を配布する 「マンション防災」に取り組む 学区内の施設との地震災害時の連携協定を促進する
町内会	<ul style="list-style-type: none"> 町内会の方や、マンション管理組合へ、「防災まちあるき」の参加を呼びかける 町内会への加入や行事への参加を促す マンション管理組合に、まちづくりへの参加を呼びかける 	<ul style="list-style-type: none"> 避難扉設置を推進する 各町で消火器の位置を確認し、全町内での消火器の設置を目指す 消火器を定期更新する 「防災まちあるき」で空き家を確認する 空き家の情報を町内会・自主防災会等で共有する 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練で避難経路等は自ら判断することを周知、確認する
個人・家庭	<ul style="list-style-type: none"> 「防災まちあるき」に参加する 子どもの見守り、ゴミ捨て、ペットの散歩などの際に挨拶をする 町内会、自治連合会のイベントに参加する 	<ul style="list-style-type: none"> 木造建物の耐震・防火改修を検討する 家具の転倒防止や感震ブレーカーなど、家の中の安全対策に取り組む 路地や道路後退部分に物を置かない 家のまわりにある消火器の位置を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の集合場所、指定避難所を確認する 防災グッズを準備する 防災訓練に参加する

活動体制

地震災害に強いまちを作るため、
醒泉学区が一体となって「防災まちづくり」活動に取り組めます！！



個人・家庭の取組チェックシート

「防災まちづくり計画」を実践するためには、個人・家庭の継続的な取組が必要です。それぞれの立場に必要な取組を整理しましたので、チェックシートとしてご活用ください。

👉 できている にチェックマーク(✓)を入れましょう。

<input type="checkbox"/>	近所付き合いを日頃から大切に	<input type="checkbox"/>	自宅の耐震診断を受ける
<input type="checkbox"/>	町内や学区の行事に参加する	<input type="checkbox"/>	自宅の耐震補強、防火改修を実施する
<input type="checkbox"/>	地域の集合場所の位置を確認する	<input type="checkbox"/>	燃えやすい物を家の周りに置かないようにする
<input type="checkbox"/>	消火器、防火バケツの位置を確認する	<input type="checkbox"/>	道幅4m未満の道路に面する敷地は建替時に道路後退を行う
<input type="checkbox"/>	家具の転倒防止対策を行い感震ブレーカーを設置する	<input type="checkbox"/>	安全に避難できるように路地を適切に管理する
<input type="checkbox"/>	地震災害時の避難持ち出し袋を用意する	<input type="checkbox"/>	空き家の所有者は空き家を適切に管理する